

# エコパーク通信

平成27年度9月号

中南米産の50数年かけて咲くといわれる**トックリラン**の花が、初めて咲きました。成長が遅いため高さが3mを超えることは珍しいです。そのため日本でも花を目にすることがなかなかできません。幻の花と呼ばれるのも頷けますね。



5月の初旬、リュウゼツランの株の真ん中が膨らみかけてきて、「あっ、これだ」と期待した株から花茎が出た時は感動しました。それが空に向かって伸び、風が吹くとユサユサ揺れ傾きかけてくるのを、杭を打ったり支えをしたり目配り、気配りをしてくれた山本夫妻の影の苦勞を忘れてはなりません。猛暑に耐え、私達を楽しませてくれました。夏が終る頃には、全てのエネルギーを使い果たし朽ちて終りを迎えます。公園を見守り「頑張れよ」と何かメッセージを投げかけてくれていた様に思います。

さて、この8月に国土交通省中部地方整備局より御前崎港が、にぎわいの創出と防災の拠点として「みなとオアシス」に認定されたということです。この港の近くの一角にある手づくり公園エコパークは散策、木陰でのお弁当、花の写真がいっぱい花小屋、子供達が遊べる遊具、運動場など7000坪の緑地帯は身近な公園として、来園する方々が集い、憩う最高の癒しの場となるに違いないでしょう。

エコクラブ会員 大澤 ち世子

キョウチクトウ



ハマボウ



ザクロ



ニオバソマツ



ローズマリー



ブーゲンビリア



御前崎エコクラブ会長

山本 貴美枝